



やまぶき

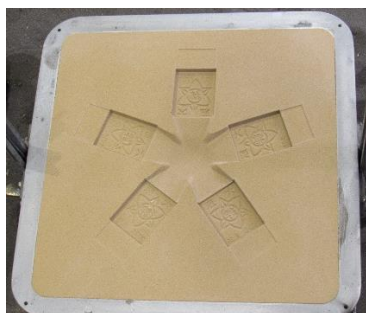
一関市立大原小学校 校報 No. 38
2026.2.5 文責：校長 松田

鑄造作業見学(6年)

2月2日(月)、6年生が奥州市水沢羽田にある市立鑄物技術交流センターを訪れ、卒業記念品の文鎮作りの様子を見学しました。この活動は、たたら製鉄の学習の一環として行っており、7月に砂鉄川で砂鉄を採取したあと、9月に学習館でたたら製鉄に挑戦し、自分たちで作った鉄を使って文鎮を作る学習を進めています。

当日は、及源鑄造の職人の方が、砂鉄と銑鉄を電気炉で約1500度に溶かした鉄を型に流し込む作業を実演してくれました。子供たちは、溶けた鉄が冷えて固まる様子を真剣に見つめながら作業の流れを学びました。

この文鎮には「大原」「絆」、校章、そして卒業式の日付が刻まれており、子供たちにとって特別な記念品となります。制作した文鎮は3月18日(水)の卒業式で受け取る予定です。関わった全ての方々に感謝しながら、未来への思いを込めた素敵な文鎮に仕上がるのが楽しみです。



民俗資料館見学(3年)

2月4日(水)、3年生が一関市民俗資料館へ校外学習に出かけ、昔の道具や暮らしに触れました。展示されている農具や生活用品を実際に見て、道具が時代と共にどんどん進化していったこと、そして便利に使えるようになったことを知りました。子供たちは進化する道具を目の前に、「こんな道具で生活していたんだ」と興味深く話を聞いていました。

資料館のスタッフの説明を受け、昔の暮らしの様子がよくわかり、貴重な体験となりました。これからも地域の歴史や文化に親しみを持って学んでほしいと思います。



長縄大会（なかよし班遊び）

2月4日（水）、なかよし班対抗の長縄大会が行われました。この大会は「なかよし班」ごとに8の字跳びを5分間で何回跳べるかを競うもので、冬の運動不足を解消するとともに、仲間との絆を深め、協力する力を育む目的があります。

冷たい空気の中、子供たちはこれまでの練習の成果を発揮し、励まし合いながら全力で挑みました。「がんばれ!」「大丈夫、いいよ!」といった大きな声が響き渡り、体育館は温かい雰囲気になりました。優勝した班は見事に177回を達成し、歓声と拍手が溢れました。



大東中学校入学説明会（6年）

2月3日（火）、大東町内の4つの小学校から6年生が集まり、中学校入学説明会が行われました。始めに、緊張をほぐすアイスブレイクとして「誕生月ごと」「好きな教科ごと」に集まり、初対面同士での交流を楽しみました。

その後、中学校の先輩にあたる中学生が学校生活の様子を説明し、校舎や授業の見学も実施されました。最初は緊張感が漂っていましたが、次第に和やかな雰囲気となり、6年生たちは自分たちの新しい学校生活を具体的にイメージすることができたようです。4月からの中学校生活に期待を膨らませる良い機会となりました。

保護者の皆様もご参加いただきありがとうございました。



「子育てを応援!まなびネットいわてのご紹介」

岩手県立生涯学習提供システム「まなびネットいわて」は、保護者の皆さまをサポートするための便利な情報サイトです。ここでは、子育てに役立つ情報があり、特に注目したいのが「すこやかメールマガジン」です。定期的に配信されるこのメールマガでは、家庭で活用できる子育てのヒントやアドバイスが紹介されており、保護者の方々からも好評を得ています。

ぜひ一度「まなびネットいわて」の公式サイトをご覧ください。

